

あきる野市議会

会報 vol.5

議員紹介

志清会だより

— あきる野の未来に責任を持ち、市民と協働して歩む —

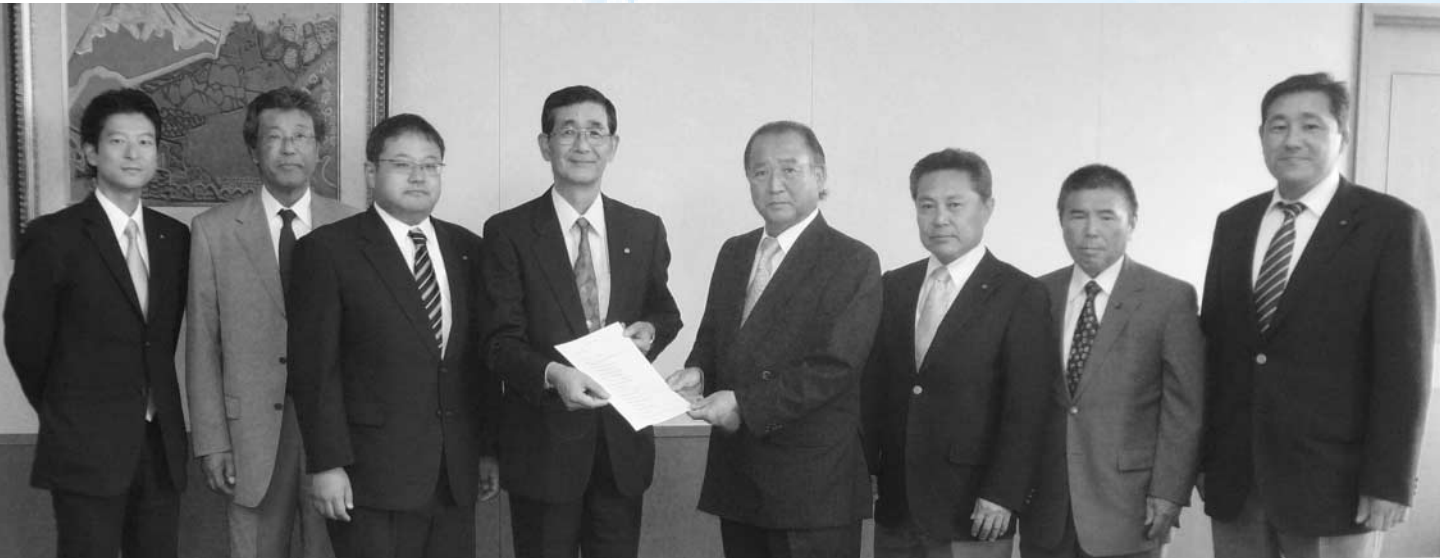
※ 志清会は、あきる野市議会で志を同じくする7名の議員による政策グループです。



新年度予算へ、要望書を提出！

実現めざし 臼井市長へ

志清会では来年度の予算編成を前に、会派としての要望書をまとめ、臼井孝市長へ手渡ししました。予算要望では、環境都市あきる野の実現へ向けた施策展開をはじめ、LEDの推進や特別支援教育の充実。そして市民要望の高い待機児童の解消やヒブワクチン等の接種など15項目について実現を求めました。



- 予算要望例**
- 急傾斜地の崩落危険箇所への対策
 - 雨水排水溝の整備改修
 - 市内商工業者への支援の拡充
 - 地産地消農業の推進
 - ジオパークに関する調査研究
 - 下水道未整備区域への延伸
 - 全国地芝居サミット開催に向けた調査費の拡充

昨年度決算への対応

9月定例会の中で2日間にわたって集中審査を行った「決算特別委員会」。志清会では、厳しい財政状況下でありながらも、行財政改革の断行により、100%を超えていた「経常収支比率」が大幅に改善され、98.7%まで引き下げられたこと、また、前年度からの繰越金等を原資として「財政調整基金」への大幅積み立てを行うことが出来たことなどを高く評価し、決算を認定することに賛成しました。

一方、決算審査の中では、リースなどに対する無駄の洗い出しやLEDの導入による光熱費削減の提言、集団資源回収の更なる推進によるコスト削減効果やごみの減量化などを指摘。今後の市政運営への反映を求めました。

「議会報告会」の開催を提案！



志清会ではこれまで、所属する議員個人が各地で「議会報告会」を行ってきました。しかし、議会の説明責任がより求められる昨今、議会全体としても「市民のもとへ積極的に向き、議会報告会を行うべきではないか」と考え、志清会は9月の会派代表者会議で提案。現在、議会改革検討委員会などで協議しています。志清会では今後も「議会としての議会報告会」の実現へ力を注ぎます。

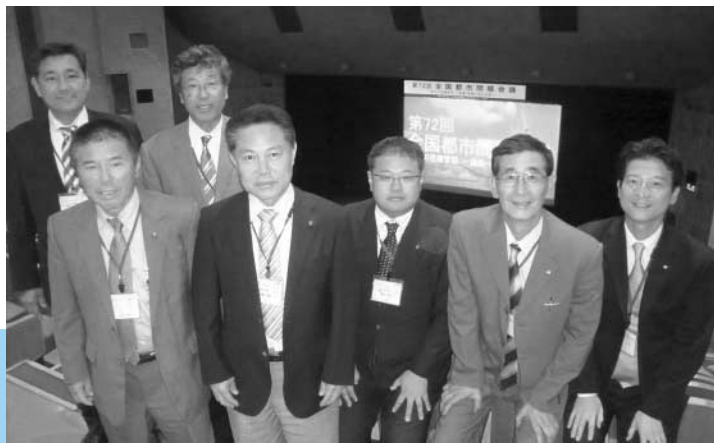
入湯税の改正を実現！ 新たな財源を確保。

自主財源の確保を図る狙いから、志清会が提案した「瀬音の湯における入湯税の改正」が9月定例会で実現。これにより、料金は据え置きで年間1000万円以上の税収が新たに確保されることになりました。

減災や危機管理を研究！

近年、震災や集中豪雨、インフルエンザなどに対する「自治体の危機管理能力」が問われ、重要性を増しています。そんな中、10月7日と8日の2日間、兵庫県神戸市で「都市の危機管理～協働・参画と総合対策～」と題した「全国都市問題会議」が開かれ、会派のメンバー全員で参加。全国の先進事例を学びました。

会議では、全国各地の危機管理&減災対策をはじめ、「自助・共助・公助のあり方」や地域防災力の強化策などが報告され、あきる野市でも生かせる取り組みを吸収してきました。



決算審査の質疑例

※資源集団回収の効果について…ごみ収集として西秋川衛生組合で処理すると、1^キあたり35円程度の処理費がかかるが、資源集団回収奨励金事業では1^キあたり12円程度。集団回収の方が相当のコスト安であり、町内会等の輪も広がる。

10月12日、町田会長から臼井市長へ要望書を提出

※ 一般質問の詳細は、議会ホームページまたは議会だより(11/1号)をご覧ください。

ほりえ たけし

こごもり としひと

秋川流域議員研修会で



おかの えつし



都市問題会議で市長らと



姉妹都市を訪れた市倉議長(右)

。瀬音の湯
における4～7月の平日70日間の市民割引利用者は5845
人で全体の17・1%。今後も利用促進を図る。(2)秋川
木材協同組合や秋川木工連との連携を強化し、地元産材の利用
促進に向け、市民や都民などへのPR活動に力を入れたい。

まちだ まさし



- | | | |
|------------------------------------|---|-----------------------------------------------------------|
| ① 落ち葉の堆肥化 | ⇒ | 「落葉堆肥化わく」を、草花台パーク
ハイツ内に設置し、モデル事業を開始 |
| ② 貸出用AEDの導入 | ⇒ | 貸出AEDの用意が整い、10月1日付
の市の広報で市民にお知らせ |
| ③ 売却や貸付可能な
市有地情報のホーム
ページでの公開 | ⇒ | 「あきる野市未利用地等利活用基本
方針」を定め、「(仮称)あきる野市土
地バンク情報」をHP上で掲載へ |